No.482

りんせい

林 声

2022

3月号

県内各地の森林をご紹介する「様々なスタイルの森・おかやま」。今回は、津山市内の黒木国有林の檜皮(ひわだ)採取林です。檜皮は、国宝などの伝統的木造建造物の屋根に多く利用されており、その修復作業には欠かすことのできない材料です。その檜皮を採取するヒノキ林を紹介します。

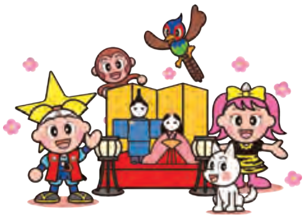
写真は原皮師(もとかわし)による檜皮採取の様子。(詳細はP2に記載)

目 次

様々なスタイルの森・おかやま ～檜皮採取の森～ …… 2
生き活き！林業の現場（吉備中央町農林課）… 3
普及指導区の情報（倉敷普及指導区）…… 4
ナラ枯れ被害とその対策／山火事予防運動月間 …… 5
晴れの国おかやま林業就業ガイダンス …… 6
『ニューフェイスです！』（新見市森林組合　岩﨑亮太さん）…… 7
おかやまの森林・林業を支える担い手の育成について …… 8
「岡山県産材合板」の製品開発 …… 9
技能講習等情報 …… 10
林産物市況 …… 11
森林・林業施設の紹介（美作市「美しい里山公園」）…… 14

【ぼっけ～木になる情報】

Q 保安林の立木を伐採したいのですが、どのような手続きが必要ですか？
（答は13ページ）



©岡山県マスコット「ももっち・うらっち」

様々なスタイルの森・おかやま
～檜皮採取の森～
【津山普及指導区】

一　はじめに

林野庁近畿中国森林管理局岡山森林管理署では、管内３箇所の国有林（高梁市臥牛山国有林、津山市黒木国有林、奈義町那岐山国有林）で設定されている檜皮採取対象林を管理しています。対象林は現在１００年生以上のヒノキ林となっており、定期的な檜皮採取が行われ、国宝や重要文化財の社寺仏閣等の檜皮葺の改修に活用されています。

国宝の京都市清水寺本殿
（R2.12.3改修工事完了）

二　檜皮とは

檜皮とは、屋根葺き材として用いられるヒノキの樹皮です。一般的に、樹齢70年～80年以上の高齢のヒノキ立木から採取され、一度採取すると、次に同じ立木から檜皮を採取できるまでに10年程度必要であると言われています。

檜皮の採取は、伝統的な技法で檜皮を採取する原皮師（もとかわし）と呼ばれる技術者が、ぶり縄（ロープの両端に木の棒を結んだ道具）を使ってヒノキの立木に登り、樹木に影響のないように、専用の木べらを用いて、甘皮（樹木の形成層）と絹皮（甘皮と樹皮の間にある層）を傷つけないよう残して樹皮を剥ぎとります。

三　取組みの経緯

檜皮葺の構造物は国指定重要文化財だけでも７００棟あり、これらを35年周期で葺き替えると、年間約２１０トン、立木換算すると年間約３５，０００本のヒノキからの檜皮が必要になると言われています。しかし、檜皮を採取する原皮師や檜皮に適したヒノキが減少していることに加え、檜皮採取が立木の成長や材質に影響を及ぼすとの懸念から、採取に協力する森林所有者の方が減少していることにより、檜皮の安定供給体制の整備等が必要となっていました。

そこで岡山森林管理署では、檜皮の量的確保及び安定供給に資するため、平成13年に津山市内の黒木国有林を「檜皮採取対象林」として設定し、檜皮の販売に関する協定を、文部科学大臣が認定する（公社）全国社寺等屋根工事技術保存会と締結して、計画的な檜皮の供給を行っています。

檜皮採取対象林の様子
（黒木国有林（津山市））

四　津山市黒木国有林

県内に3カ所ある採取林のうち、当指導区内にある黒木国有林は、津山市加茂町にあり、１５７．３４ヘクタールのうち、４．９５ヘクタールが檜皮採取の森として指定されています。

この森は大正６年に植栽されたヒノキ林で、平成28年に初めて檜皮を採取し、清水寺等の修復作業に利用されています。現在は、檜皮の再成長の期間であり、令和６年～８年頃に２度目の採取を予定しているそうです。

見学もできるそうなので、檜皮生産に興味のある方には、岡山森林管理署にお尋ねください。

黒木国有林　対象林の位置図

五　最後に

大径材の生産を目指した長伐期施業を進める森林所有者にとって、檜皮生産は副収入の可能性があることから、今後、当普及指導区での普及項目の一つとして検討していきたいと考えています。

最後になりましたが、大変お忙しい中、快く取材に応じてくださいました岡山森林管理署の方にお礼申し上げます。

（津山普及指導区　長畑　弘道）

生き活き！林業の現場

吉備中央町農林課
【岡山普及指導区】

一　はじめに

吉備中央町は県の真ん中に位置することから、町のキャッチフレーズを、真ん中を意味する「おへそ」を基に「おっへぇそう！おかやま吉備中央町」としています。

町の森林面積は、約27千㌶、森林率は72％ですが、人工林率は28％と低く、アカマツや広葉樹の天然林が多くを占めています。

今回ご紹介する吉備中央町農林課では、4名の職員の方が森林・林業業務に携わっています。主な業務としては、町有林での造林事業、森林法に基づく立木伐採届の指導、森林管理経営制度の推進、森林環境譲与税の活用などです。

二　森林経営管理制度の取組み

令和元年度から森林所有者に向けた意向調査を毎年1地区ずつ実施し、その業務を地元森林組合に委託しています。

世代交代等により、所有者が特定できない箇所もあるようですが、森林所有者から町へ森林の管理を委託された部分については、既存の森林経営計画に含めて施業できないかなど、計画的な施業に向けて検討しています。

三　森林環境譲与税を活用した新たな事業への取組み

町では、今年度森林環境譲与税を活用し、試験的な取組みを3つ実施しています。

1つ目は、「里山竹林整備実証実験業務（竹林整備）」です。この事業は、管理が行われず荒廃した竹林を伐採し、伐採後に広葉樹を植えることで、里山林の水源涵（かん）養機能や生物多様性保全機能の回復を図ることを目的としています。

今年度は、竹部地区（0．14㌶）と吉川地区（0．02㌶）の竹林を伐採し、イロハモミジ等を植栽しました。また、植栽後5年間は下刈りを行い、植栽した苗木の管理を行う予定としています。

2つ目は、「森林緊急間伐実証実験業務（道路支障木伐採）」です。道路沿いの支障木を伐採し、かん木等を刈り払うことで、台風等の自然災害による道路や電線のインフラ施設への被害を未然に防止することを目的としています。また、道路沿いの森林を緩衝帯として整備することで、野生鳥獣の集落への侵入を防ぐことも期待されています。今年度は、小森地区において支障木伐採等（10㍍×50㍍、約0．05㌶）を実施し、地元住民からは、見通しがよくなったと大変喜ばれています。

道路支障木伐採状況
（小森地区）

3つ目は、「町有林を活用した針広混交林のモデル林の設置」です。森林経営管理制度において、林業経営に適さない人工林の管理方法として、管理コストの低い針広混交林への誘導が考えられます。

そこで、吉備中央町では、森林所有者に具体的な施業方法を提案するために、上田西地区の町有林（約0．4㌶）に針広混交林のモデル林を設置しました。今後、このモデル林を活用した施業提案を進め、森林経営管理制度の更なる推進を図ることとしています。

県・町・森林組合と現地打合せ
（上田西地区）

四　最後に

林務担当者の宮田課長補佐に町の森づくりに対する思いをお聞きしたところ、「町民の森林に対する関心が薄れている状況ですが、町が率先して森林整備を実施することで、町民に森林環境譲与税を活用した森林整備の理解が広がってほしいと思っています。」とのことでした。

当普及指導区では、今後も、吉備中央町の森林経営管理制度や森林環境譲与税を活用した森づくりの取組みを支援していきたいと考えています。

（岡山普及指導区　六車　悠人）

倉敷普及指導区の情報

ＧＮＳＳ測量等の活用に係る研修会の開催について

一　はじめに

備中県民局管内では、ＧＮＳＳ測量機の導入を検討する森林組合が増えており、令和３年度高梁川流域森林組合長協議会において、ＧＮＳＳ測量機の活用について要望があったところです。

区域測量の労務の省力化が図られるとともに、位置情報を持った施業履歴が作成できるなど、ＧＮＳＳ測量は有効と考えられるため、当協議会構成員の森林組合や県担当者等を対象とした研修会を開催しました。

二　ＧＮＳＳ測量について

Trimble Geo7

Geode

本県では、ＧＮＳＳ測量による造林補助申請が平成26年10月から認められていましたが、精度が低いなどの理由で、これまでほとんど活用されていませんでした。

しかし、現在では数年前に比べて衛星の数が増えたこと、機器自体が小型軽量、高性能となったことから、林内でも高い精度の位置情報を取得できるようになっています。また、１人でも短時間で区域測量を行うことができ、省力化にもつながります。

三　研修会の内容

令和３年12月10日㈮、矢掛町内において、管内森林組合及び㈱ジツタ中国に御協力いただき、次の３項目の研修を実施しました。

①ＧＮＳＳ測量による造林補助申請について
②現地研修（ＧＮＳＳ測量実習、ドローン空撮デモ）
③ＧＮＳＳ各班計測データ・コンパス測量データの比較、ドローン空撮写真のオルソ化等

研修会では、平成26年度に県が導入した「TrimbleGeo7」と令和２年から販売されている「Geode（ジオード）」という２種類のＧＮＳＳ測量機を用いました。Geodeは、県内でもいくつかの森林組合で既に導入されています。

測量実習では５班に分かれて、「岡山県造林事業等におけるＧＮＳＳ測量機使用基準」（以下、「使用基準」）の条件を確認しながら区域測量を行い、後で各班の測量成果を比較しました。

併せて、ドローンによる空撮デモを行い、森林調査への活用についても研修しました。

ＧＮＳＳ測量実習

四　研修会の成果

実習は、衛星取得条件が悪そうな現場を選んで行いましたが、各班とも多くの衛星を取得でき、使用基準の内容も十分満たしていました。

また、各班の測量データを比較すると、特に条件の悪そうな箇所では位置のズレが大きく出ましたが、最新の機器を使用したり、正しい計測方法で行うことで、測量精度を向上できそうです。

参加者全員が実際にＧＮＳＳ測量機を使ってみることで、測量労務の省力化を実感できました。

ドローン空撮デモ

五　おわりに

林業事業体等の森林施業の省力化につながる取り組みはより一層進めていく必要があると思われ、今回の研修会をきっかけとして、引き続きＧＮＳＳ測量を含めたスマート林業技術の導入や活用の支援を行っていきたいと思います。

（倉敷普及指導区　佐藤　雅之）

ナラ枯れ被害とその対策について

一　ナラ枯れ被害の状況

ナラ枯れは、ナラ類、シイ・カシ類の樹木を枯らすナラ菌とそれを媒介するカシノナガキクイムシによって引き起こされる樹木の伝染病です。

岡山県では、平成21年度に初めて被害が確認されてから、主に県北部地域で拡大しており、令和3年度の被害量は、12月末時点で約25千㎥となり、昨年度の被害量よりは減少する見込みであるものの、県南部地域でも新たな被害が確認されており、被害区域は拡大傾向にあります。

二　ナラ枯れ対策

県では被害の拡大を防止するため、令和3年3月に岡山県ナラ枯れ被害対策基本方針を定め、「地域の実情に応じた被害対策を実施し、未被害地への被害の拡大を最小限に抑える」、「被害を受けにくい森林へ誘導する」の2つの目標を掲げ、県、市町村等関係機関が連携した総合的な被害対策を推進しています。主な被害対策としては、被害木の伐倒くん蒸による駆除、健全木への殺菌剤の樹幹注入による予防等があります。

なお、効果的に駆除を実施するためには、カシノナガキクイムシが羽化・脱出する前の5月末までには作業を完了させる必要があります。

駆除対策（伐倒くん蒸）

三　終わりに

ナラ枯れは、思いもよらないところで発生し、そこが発生源となって急激に被害が広がってしまうことがあります。被害木の根元付近には、多数の穿入痕と大量のフラスと呼ばれる糞と木屑が混ざったものが見られるのが特徴です。

ナラ枯れが疑われる木を発見された場合は、最寄りの県民局森林企画課などにご連絡ください。

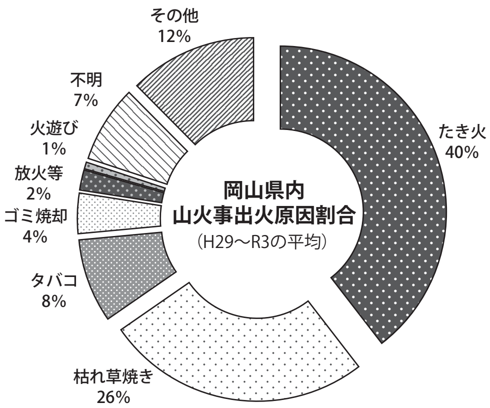
（治山課　造林班）

3月は山火事予防運動月間です

春先は、空気が乾燥し、風の強い日も多くなることから、山火事が非常に起こりやすくなります。

県では3月を「山火事予防運動月間」と定めて、県民の山火事予防意識の向上に取り組んでいます。

県内では、過去5年間に285件の山火事が発生し42㌶の森林が失われています。その原因は、たき火の不始末、枯れ草焼きからの延焼といった人の不注意によるものがほとんどです。



ひとたび山火事が発生すると、一瞬で大切な森林が失われてしまいます。

今年の全国統一標語は**「山火事を　防ぐあなたの　心がけ」**です。山火事を防ぐ6つのポイントを心がけ、大切な森林をみんなで守り、未来へと引き継ぎましょう。

★山火事を防ぐ6つのポイント

①強風・乾燥時は火を使わない
②たき火の後始末は完全に
③タバコの投げ捨て厳禁
④火遊びはしない、させない
⑤火入れや野焼きなどは一人でしない
⑥火入れをするときは許可を受けよう

（治山課　保全班）

晴れの国おかやま林業就業ガイダンスを開催しました

一　はじめに

県では、林業の担い手を確保するため、令和４年１月８日（土）に、県森林研究所（勝央町）の林業技術研修棟にて「晴れの国おかやま林業就業ガイダンス」を開催しました。

当日は、林業への就業を希望・検討している17名の方が参加され、仕事内容等についての説明、林業機械の操作体験を行いました。

二　林業就業ガイダンス

（公財）岡山県林業振興基金及び市町村が相談ブースを設け、林業作業の内容や人材募集の状況、各種支援制度等について説明を行いました。

また、実際に林業の現場で働かれている先輩従事者と意見交換を行い、これまでの体験談などについて、熱心にお話を聞かれていました。

市町村ブースでの林業就業ガイダンス

三　林業体験

林業について具体的にイメージしていただくため、チェーンソーによる丸太切り体験やグラップルの操作体験を行いました。

講師のアドバイスを受けながら、皆さん真剣な表情で体験されていました。

参加者からは、「機械の操作は難しかったが楽しかった」「実際に体験できて良かった」などの声が聞かれました。

グラップル操作体験

チェーンソー丸太切り体験

四　最後に

今回、10代から60代と幅広い年代の方に参加いただき、特に若い方の参加が多くありました。自然に関わる仕事がしたい、就職先の一つとして検討したいなどの声も聞かれ、林業への関心の高まりを実感しました。

このガイダンスをきっかけに、一人でも多くの方が林業に魅力を感じ、新たな担い手として岡山の林業を一緒に盛り上げてくれる方が増えることを期待しています。

なお、林業技術研修棟には常設の「林業就業相談窓口」があり、対面での就業相談の他、オンライン相談も行っています。ご興味がある方がいらっしゃればお気軽にご相談ください。

（林政課　普及指導班）

林業就業相談窓口

電話：（0868）20-1931

オンライン相談の申込

http://www.okmoriren.or.jp/soudankai/

ニューフェイスです！

新見市森林組合
岩崎（いわざき）　亮太（りょうた）さん（35歳）

今回は、新見市森林組合の岩崎亮太さんをご紹介します。岩崎さんは令和2年11月に採用され、植栽や伐倒などの作業に携わり、2年目を迎えています。

新見市森林組合　岩崎亮太さん

一　経　歴

岩崎さんは、埼玉県熊谷市の出身で、東京のガス会社に勤務されていました。

林業という職種への就職を考え始めたきっかけは、近年の異常気象で土砂災害等が増える中、治山に興味を持ち、山を管理する仕事として林業が浮かんだようです。

新たな環境の中で、今の自分に何ができるかを考えながら仕事をするため、Ｉターンを決意されたそうです。

林業への就職活動はインターネットの就職サイト等に新見市森林組合が掲載されているのを見て、興味を惹かれたようです。

新見市森林組合を就職先として選んだ決め手は、面接で丁寧に対応してもらい、事務所を訪れた際、雰囲気の明るさを感じて、ここなら安心して働くことができると思ったことだそうです。また、就職前には、図書館等で林業に関する本を読み、現代の林業における課題や山林で起きている問題について知識を深めたそうです。

二　仕事の内容

一年目は、植栽や除伐・下刈りを行う造林班の一員として作業を行い、二年目は、林産班に所属し、間伐・皆伐での伐採作業、伐倒後の枝払い、玉切り等の造材作業に従事されています。

三　仕事への思い

岩崎さんは真面目な方で、仕事で体験することはすべて勉強だと考え、本で得た知識のほか、自分が直面している仕事から、新たな発見や気づきがあった時、やり甲斐を感じているようです。

また、現場作業での経験や研修で得られた知識を通じて、一番良い山林の管理のあり方とは何かに対する答えを自分で導き出すことができるようになればと考えています。

伐倒後の枝払い作業

現場での様々な作業の習得と、同じ作業班の先輩方の岡山弁に慣れながら、新見での生活を含め、楽しく仕事ができているようです。

四　上司からの一言

小谷班長に伺うと「県外から来てまだ一年余りですが、指示したことを着実にこなし、将来が楽しみです。これからも、着実に技術を身につけてもらえるよう頑張ってもらいたいと思います。」と話されました。

ヒノキの植栽作業

五　終わりに

Ｉターンということもあり、岩崎さんの林業に対する熱意と意気込みが伝わり、大変頼もしく思えました。岩崎さんの今後の活躍に期待するとともに、当普及指導区としても、支援していきたいと考えています。

（新見普及指導区　岡田　和久）

おかやまの森林・林業を支える担い手の育成について

令和３年度に農林水産総合センター普及連携部普及推進課で開催した研修について紹介します。

一　林業機械体験研修

フォワーダに木材の積み込みを行う高校生

林業関係学科等のある高校生や林業体験を希望する高校生等を対象に、ハーベスタやフォワーダなどの高性能林業機械の操作体験を行いました。この体験を通して、木材生産の現場で主流になっている林業の一連の作業システムに触れ、林業が魅力ある職業として認識されていくことが期待されます。

二　森林作業道作設研修

バックホウによる盛土の施工方法を学ぶ研修生

岡山県の地形、地質及び作業システムを踏まえた森林作業道の路線選定や作設方法について、基礎研修と応用研修に分けて開催しました。基礎研修では、路線の計画やバックホウを使用した基本的な土工について学び、応用研修では、平面・縦断測量を行い、曲線の設定や作図について学びました。これらの技術を身に付け、現場に生かすことで、林業機械による労働災害や森林作業道を起因とする自然災害の低減及び労働生産性の向上につながることが期待されます。

三　機械整備技術習得研修

木材生産の現場では欠かすことのできない林業機械は、内燃機関、油圧回路、電気回路など様々な機構を備えています。このため、日常で行うこれらの点検や整備において、専門的な知識と技術が必要となります。今回は検電器を用いて、油圧機器の電磁弁の点検を行い、不具合箇所の特定や対処方法について理解を深めました。即時での修理が行えない場合でも、修理の依頼や交換部品の調達の際に役立つことが期待されます。

検電器による油圧機器の点検方法を学ぶ研修生

四　伐採技術向上研修

林業の労働災害発生率は全産業と比較して、高い水準となっています。特に立木の伐採作業中に発生する労働災害が多くを占めています。このため、安全な伐木作業を行うことができる技能者の育成が急務となっており、伐木技能者が職場内外の研修で「技術を伝えるノウハウ」を身に付ける必要があります。伐倒練習機を使用した実習では、伐採に必要なチェーンソー技術や質問や対話による気づきを活用した新人の育成方法について学びました。人材育成に係る知識と技術を備えた指導者の育成により、労働災害の低減と新人の定着につながることが期待されます。

伐倒練習機による新人の指導方法を学ぶ研修生

五　おわりに

今後も森林研究所に新たに整備された林業技術研修棟を活用し、地域の林業を支える多様な担い手の確保と育成に努めて参ります。

（普及推進課　林業普及推進班）

「岡山県産材合板」の製品開発

県では、県産材の需要拡大を図るため、県内の木材団体等が行う県産ヒノキ製材品やＣＬＴ等の国内外へ向けた販路開拓の取組みを支援する「県産ヒノキ販路開拓支援事業」を実施しています。

令和３年度からは、国内における新たな販路拡大のためのマーケティング戦略等の企画立案、販売促進・商談活動、製品開発等の取組みについて、事業内容を拡充し支援しているところです。

今回は、本事業に取り組まれている岡山県森林組合連合会の事例をご紹介します。

この取組みは、近年の住宅着工数の低迷による製材品出荷量の減少等を背景に、県産材の需要喚起を図る目的として、新たに岡山県産材を１００％使用した構造用合板「岡山県産材合板」の製品開発を行うものです。

県内には構造用合板の加工業者がいないことから、製品開発に当たっては、持続可能な森林経営が行われる県内の森林から生産された森林認証材を原料に、適切に認証材の加工・流通製品を取り扱う県外業者（ＣｏＣ認証業者）に製造を依頼して開発を行いました。

今後、住宅部材への活用を中心にこの製品の普及が進むことで、県内外の木材卸業者や工務店等への販売が促進され、新たな販路開拓につながることが期待されます。

県においては、これらの木材団体等が行う取組みを支援し、一層の県産材の需要拡大を図ることとしています。

製品開発された「岡山県産材合板」

ＰＲのぼり
（岡山県森林組合連合会）

（林政課　林業木材班）

「もしも」に備えて・・・森林保険があります！

FOREST INSURANCE
森林保険

加入できる森林は？　人の手が加わった森林
加入期間は？　１年単位で何年でも！
保険金がでるのは？
火災、風害、水害、雪害、干害等気象災の損害があったとき、森林所有者に支払われます。

岡山県では過去５年間で約４千５百万円の保険金が支払われました。

ご契約のモデルケース（1ha あたり）

樹　種…ヒノキ　契約時林齢…1年
保険期間…5年　保険金額…最大188万円
一括払いだと 27,444 円（５年間計）
1ヶ月あたり 約 460 円 → わずかおむすび 4個分

樹　種…ヒノキ　契約時林齢…26年
保険期間…5年　保険金額…最大299万円
一括払いだと 43,325 円（５年間計）
1ヶ月あたり 約 720 円 → わずかラーメン 1杯分

○保険金額を50%にすることにより、保険料を50%にすることも出来ます。
○条件によって契約金額が変わってきます。

○お申し込み、お問い合わせはお近くの森林組合まで。

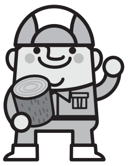
技能講習会の開催（4月～6月）

※詳細は申込先にお問い合わせください。

名　称	会場	日　程	申込・問合せ先
伐木等の業務に係る特別教育	津山	4月12～14日、5月18～20日	林業・木材製造業労働災害防止協会 岡山県支部 TEL (086) 236-7077
※15名以上の受講者がある場合は、「伐木等の業務に係る特別教育」又は「刈払機取扱作業者に対する安全衛生教育」の特別開催（出張）を実施することができますのでご相談ください。			
小型移動式クレーン運転	岡山	5月19～20日	一般社団法人 岡山県労働基準協会 TEL (086) 225-3571
	津山	6月6～7日	
玉掛け	岡山	4月7～8日、5月7～8日、5月12～13日、6月9～10日	
	和気	4月14～15日	
	新見	5月19～20日	
	津山	4月21～22日、5月30～31日	
フォークリフト運転	岡山	4月6日、16日、5月11日、6月1日、18日	
	玉野	6月23日	
	和気	4月5日	
	新見	6月16日	
	津山	4月15日、5月27日	
刈払	岡山	5月27日	
	和気	6月2日	
	笠岡	5月20日、6月20日	
	津山	4月20日	

緑あふれる環境づくり
株式会社 山都屋
本社　〒703-8273　岡山市中区門田文化町2丁目11番51号
TEL (086) 272－2161　FAX (086) 272－2142
http://www.yamatoya-net.com
大阪営業所　津山営業所　水島営業所

優良種菌で確かな収穫
もりのたねごま
◆シイタケ，ナメコ，ヒラタケ等の品種の選定及び栽培管理についてなんでも御相談下さい。
製造 総発売元　森産業株式会社
岡山営業所　岡山市北区辰巳46－104
TEL 岡山(086)805－7033(代)



林　産　物　市　況

●木　材（2月17日）

単位：千円／m3

樹種	長さ	径　級	直材	小曲り	樹種	長さ	径　級	直材	小曲り
杉	3ｍ	１４～１６	16	8（曲り）	桧	3ｍ	１４～１６	32	20
		１８～２０	16	8（曲り）			１８～２０	22	20
		２２～２８	16	8（曲り）			２２上	21	19
	4ｍ	１８～２２	13	11		4ｍ	１６～１８	27	25
		２４～２８	13	11			２０～２２	25	24
	6ｍ	１６～１８	—	13			２４～２８	25	24
・出荷材積		約1,700m3				6ｍ	１６	40	—
							１８～２０	45	—

（共販所より概況）

杉概況
- 並材3m、4m共に良い相場
- 元木良材も強含みで取引き

【3m】
柱　材　強含み
中目材　強含み

【4m】
中目材　強含み
元　木　強含み

桧概況
- ３ｍ並材は横這いで推移

【3m】
柱　材　横這い
中目材　横這い
元　木　横這い

【4m】
柱　材　横這い
中目材　横這い
元　木　横這い

資料：岡山県森連勝山木材共販所市況速報、価格は中値

●製　材（12月）

樹　種	寸　法	等級	区分	安　値　～　高　値（円 /m3）	備　考
ス　ギ	正角３ｍ　10.5cm角	特 等	K	100,000 ～ 110,000	
	正角３ｍ　12cm角	特 等	K	95,000 ～ 100,000	
ヒ ノ キ	正角３ｍ　10.5cm角	特 等	K	140,000 ～	
	正角３ｍ　12cm角	特 等	K	120,000 ～	
	正角４ｍ　10.5cm角	特 等	K	140,000 ～	
	正角４ｍ　12cm角	特 等	K	120,000 ～	
マ　ツ	平角４ｍ　10.5～12cm ×15～18cm	一 等	K	75,000 ～	
米 マ ツ	正角３ｍ、４ｍ　10.5cm角	特 等	G	95,000 ～	
	平角３ｍ、４ｍ　10.5 ×15～21cm	特 等	G	90,000 ～	
北洋アカマツ	タルキ４ｍ　3.8cm角	特 等	K	130,000 ～	
ホワイトウッド	間柱３ｍ　2.7cm×10.5cm	特 等	K	130,000～	

注１：価格は、岡山県内の市場の相場を参考とした。　注２：区分のＫとは人工乾燥材、Ｇとは未乾燥材のこと。

日本植生は環境緑化技術を創造し、地球環境の保全に貢献します。

「岡山県エコ製品」の認定を受けた５品目
間伐材を有効利用した環境緑化資材です。
NETIS登録：CB-010046-A　間伐材利用植生マット工法「森樹郎（シンキロウ）マット工法」

太陽と緑の国づくり
nihon 日本植生株式会社
http://www.nihon-shokusei.co.jp/
津山支店　/ 津山市高尾 580-1　TEL（0868）28-0256
岡山事務所 / 岡山市北区芳賀 5325　TEL（086）294-1000

CT-500C
・GP-532
小型ハイパワープロセッサ
IWAFUJI
INDUSTRIAL CO.,LTD.

高性能大型林業機械から電動工具まで何でも揃う

美津吉商事株式会社

津山市一方 194　〒708-0883　TEL(0868)23-2255

http://www.mitsuyoshi.com/

ー　安全・人と自然・調和　ー

美林を育てる

〔林地除草剤〕ザイトロンフレノック微粒剤・ザイトロン微粒剤・フレノック粒剤・ケイピンエース

造林木を野生動物の食害から守る

〔野生獣類忌避剤〕ランテクター水和剤・コニファー水和剤

〔幼齢樹保護カバー〕くわんたいⅡ　**〔樹皮食い防止〕**バークガード・美樹巻夫

〔樹幹注入剤〕マッケンジー・マツガード・他　**〔野生草食獣侵入防止〕**防獣ネット・他

お問い合わせ申込みは県森連・森林組合へ

販売：日植アグリ株式会社　**販売元：大同商事（株）大阪営業所**

TEL.086-292-5525　**TEL.06-6384-1288**

「緑の募金」ご協力をお願いします

緑の募金で進めようＳＤＧｓ（持続可能な開発目標）

募金期間

春のみどりの月間
4月1日～5月31日

秋のみどりの月間
10月1日～10月31日

口座振込は
こちらへ

ゆうちょ銀行　01270－0－5225
中国銀行岡山駅前支店　1852041
トマト銀行岡山駅前支店　1027972

寄付金に対する税の優遇措置が適用されます。

公益社団法人 岡山県緑化推進協会

岡山市北区錦町１－８　TEL・FAX（086）221-9511

緑豊かな自然を守る

治山・林道事業の普及啓発、技術援助
治山・林道の調査、測量、設計、積算
森林整備・森林公園の総合計画

一般社団法人　岡山県森林協会

岡山市中区高屋 225-1 TEL 086-271-3711
津山市二宮 1849-2　TEL 0868-28-9360

ぼっけー木になる情報

Q．保安林の立木を伐採したいのですが、どのような手続きが必要ですか。

A． 皆伐又は択伐（天然林）をしようとするときは、立木伐採許可申請書を提出し、許可を受ける必要があります。また、択伐（人工林）又は間伐をしようとするときは、立木伐採届を提出する必要があります。

○皆伐の場合

毎年２月１日、６月１日、９月１日、12月１日の年４回、「皆伐面積の限度の公表」を行っており、その公表があった日から30日以内に、伐採箇所、樹種、面積、伐採方法等を記載した立木伐採許可申請書に図面を添えて、伐採箇所を管轄する各県民局森林企画課又は各地域事務所地域森林課に提出します。

○択伐（天然林）の場合

伐採をする日の30日前までに、伐採箇所、樹種、面積、材積、伐採方法等を記載した立木伐採許可申請書に図面を添えて提出します。提出先は「皆伐」と同様です。

○択伐（人工林）及び間伐の場合

伐採をする日の90日から20日前までに、伐採箇所、樹種、面積、材積、伐採方法等を記載した立木伐採届を、伐採箇所を管轄する市町村役場に提出します。

申請に対する許可又は不許可の決定は、皆伐については申請書提出期間（伐採限度公表の日から30日）の満了後30日以内、択伐（天然林）については申請書の提出があった日から30日以内に、書面により申請者に通知されます。

また、択伐（人工林）及び間伐については、指定施業要件に適合していなければ伐採届は受理されません。

その他、保安林内で立竹の伐採、立木の損傷、家畜の放牧、下草、落葉若しくは落枝の採取、土石若しくは樹根の採掘、開墾その他土地の形質を変更する行為を行う場合にも許可が必要です。詳細は、各県民局森林企画課又は各地域事務所地域森林課にお問い合わせください。

（治山課　保全班）

事務局からのお知らせ

◎会員及び投稿募集しています

事務局では、会員の方から森林・林業に関する質問や疑問、イベント情報等、身近な話題の投稿をお待ちしております。

また、新規会員も継続して募集しております。

【会員の特典】

①県内情報誌「林声」年間６冊
②全国情報誌「林業新知識」12冊
③全国林業改良普及協会発行の専門誌が割引価格で購入可能
④関係イベントの案内

※年会費 2,500 円です。

【問い合わせ・送付先】

〒701－1202
岡山市北区楢津491－1
岡山県林業改良普及協会
（岡山県森林組合連合会内）
☎086－236－6530

編集後記

「林声」は、昭和26（1951）年に創刊された林業普及指導の情報誌「林業普及」を継承する形で、昭和31（1956）年から発行されています。その年の出来事としては、石原慎太郎のデビュー作「太陽の季節」が芥川賞を受賞しています。

「おかやまの森林づくりのあゆみ」（平成５（1993）年発行）によると、昭和31年から「林声クイズ」が始まったとのこと。ここで同年第41号に掲載されたクイズをご紹介したいと思います。

わが□の□野政□の重点はこれまでの治□□国□□□という性□から脱して林業の後□性を取□戻して森林の生□性を□め経□性の□上を図ろうと言う所謂□□□先の方向に大きく転□しようとしている

どうですか。□に入る文字がわかりましたでしょうか。答えは、次号（第42号）に掲載されているようです。

引き続き「林声」をよろしくお願いします。

（アマビエ）

林声

森林・林業施設の紹介

「美しい里山公園」

今回紹介する「美しい里山公園」は、美作市役所の東側に位置しており、都市計画区内の市街地を取り巻く豊かな自然景観を保全し、有効活用するために、市が森林所有者と貸借契約を締結し、平成26年度から約4百㌶の公園整備を進めています。

公園を管轄する都市住宅課が公園内の縦走ルート、林道整備、遊歩道の開設等のハード面を担当しています。また、森林政策課が公園内の森林について、森林経営計画に基づき広葉樹の更新伐を実施し、二課が連携して市民の憩いの場としての森林空間を提供しています。

公園内にある藤乃森広場・塩野尾山広場はウッドチップが敷き詰めてあるとともに、県産材を用いたあずま屋もあり休憩スポットとして整備してあります。

また、公園内の各所に自生するミツバツツジは、3月下旬から4月中旬までが見頃となります。中でも林道北原線から続く遊歩道部分は、両脇にツツジが咲き乱れ、さながらツツジのトンネルのようになります。

山歩きにはよい季節となりましたので、ご家族やお友達と訪れてみてはいかがでしょうか。

（勝英普及指導区　上野　和俊）

令和四年三月一日（第四八二号）
（隔月一日発行）

編集
発行　岡山県森林組合連合会内　岡山県林業改良普及協会
〒701-1202　岡山市北区楢津四九一－一

木を通して環境保全に貢献しています

公園修景施設・土木用資材
防腐処理・ログハウス・デッキ

さんもく工業株式会社
〒702-8045 岡山市南区海岸通2丁目6番3号
TEL 086-262-0137(代) FAX 086-262-0130

おかやまの木で家づくり支援事業

✓助成金額：最大24万円/戸
✓助成対象者：県内において住宅を新築または改修される施工業者（大工、工務店等）

詳細はコチラ
http://www.kaiteki-kinoie.or.jp/subsidy.html

一般社団法人岡山県木材組合連合会
〒700-0902 岡山市北区錦町1-8(岡山県木材会館内)
TEL(086)231-6677 FAX(086)232-7549

運搬用ドローン導入しました

苗木・資材運搬に活用し、労務負担軽減と作業効率 UP に期待！
興味のある方または検討されている方は、当会までご相談下さい。

共販日（特別市）のご案内

各共販所へ多くの出荷をお待ちしております。

【勝山木材共販所】開設 56 周年記念市及び第 2 回おかやまの森整備公社春季特別市
4／ 7（木）9時30分～

【津山木材共販所】開設 60 周年記念市
4／ 7（木）10時50分～

【新見木材共販所】開設 58 周年記念市
4／22（金）9時 30 分～

［写真：コンテナ苗運搬状況（約 10kg）］

JForest　岡山県森林組合連合会　tel 086-236-6530

この用紙は、日本の森林を育てるために間伐材を積極的に使用しています。
認定番号 K0809236